

ナナオ

第1回EIZOメディカルセミナー

ナナオは、病院情報システム管理者、放射線科読影医、診療放射線技師などを対象とした「EIZOメディカルセミナー2005」を、7月2日にホテルパシフィック東京(港区高輪)で開催する。

内容はつぎのとおり。「ソフトコピー診断への道—モニターはどう影響するか」○液晶モニターの搬送と現状の技術○医用画像表示モニターの品質規格・ガイドライン○診断用液晶モニターの表示特性と品質管理の実践。「日本の事例と米国のアプローチ」PACSマネージャーを育てるSCARミーティング」○日本のフィルムレス運用の実際—技師から見た○日本のフィルムレス運用の実際—医師から見た○米国のアプローチ—PACSマネージャーを育てるSCARミーティング。

定員80名、参加無料。同社の専用サイトで申し込み受け付け中。

※問い合わせ先〓メディカル課
☎03・5715・2014

URL = <http://www.radiforce.com/jp/>

アイティーコーディネート

医用用語標準化支援ツール提供

アイティーコーディネートは、医用用語標準化支援ツール「Dicapplet」(ディカプレット)の新

製品「DELL Original Dicapplet Server Edition」の提供を開始した。この製品はデルとマイクロソフトの共同プロモーション「スマートビジネスキャンベーン医療編」でWindows sds 2003をインストールしたデルのサーバPowerEdge SC1420およびPowerEdge 800にバンドル提供される。URL = <http://www.dicapplet.jp>

電子カルテ常設展示場

「メデイブラザ福岡」オープン

5月7日、福岡市JR博多駅前に、診療所向け電子カルテを中心に、診療所向け電子カルテを中心とした病院情報システムの常設総合展示場「メデイブラザ」がオープンした。東京、大阪、沖縄に続いて国内4カ所目。

現在、40社を超えるメーカーが電子カルテを開発しているが、大規模な見本市以外では各製品の比

較検討がしにくいのが実情である。メデイブラザには多数のメーカーの製品が一堂に展示されており、来場者はいつでも自由に電子カルテ体験ができる。URL = <http://www.medi-plaza.com>

第27回MEE技術講習会

医療機器の正しい使用法

日本生体医工学会(旧・日本エム・イー学会)と医療機器センターは「医療機器を正しく安全に使うには?—医療現場に必要な基礎知識とトラブルへの対応」を

テーマに第27回MEE技術講習会を開催する。開催日時は、福岡会場6月25日、仙台会場7月3日、大阪会場7月10日、東京会場7月10日。受講料は1万円。申し込みは受講日の2週間前まで。

※問い合わせ先〓医療機器センター

医療事業部 ☎03・3813・8157

URL = <http://megiuru.jp>

医療とニューメディアを考える会

電子カルテの機能や課題を紹介

医療とニューメディアを考える会は5月24日、アルカディア市ヶ谷で第221回例会を開催する。

テーマは「電子カルテシステムの動向と導入に向けて」。講師は

佐藤秀暢(富士通)。国内や海外の動向や導入状況を踏まえ、電子カルテシステムの概念や目的と期待効果、最新機能や今後の課題について紹介する。また、実際の導入事例を通じて、導入に向けて必要な準備体制や失敗しないポイント、投資コストの考え方を紹介し、今後の期待と課題を考察する。参加費は会員以外1万円。参加希望者は要連絡。

※問い合わせ先〓考える会事務局 ☎03・3864・7755

URL = <http://homepage2.nifty.com/ybunken/>

東芝メディカルシステムズ

超音波の優れた臨床画像の発表

東芝メディカルシステムズは、5月27日にホテル日航東京(港区台場)で「The Best Image in Ultrasound」発表審査会・表彰式と特別講演を行う。

プログラムは「The Best Image in Ultrasound」発表審査会・表彰式、特別講演「Apilo・New Technology」東芝メディカルシステムズ超音波開発部、「血管性疾患における超音波検査の役割と期待」松村誠(埼玉医大)。

※問い合わせ先〓超音波事業部 ☎03・3818・2047

▼アイティーコーディネート 医用用語標準化支援ツール

▲Dicapplet

アイティーコーディネートは、医用専門用語の簡単入力を実現する医用用語標準化支援ツール「Dicapplet（ディカプレット）」＝システム画面＝を発売した。



〈特長〉

▽100万語を越える病名・医薬品名・その他医療関連用語を収録し、標準病名や医薬品名、ICD-10コードなどの各種の病名・医薬品コードに対応しているため、医療機関での専門用語入力や書類作成時の用語標準化を効率的に支援

▽用語やコードを入力すると、対応する標準病名や医薬品名の正式名称の候補がテーブル表示され、利用者はその中から適切な用語やコードを選択して入力することができる

▽病名⇔医薬品名⇔各種コード⇔の双方向で変換することができ、正確な入力内容を選択することが可能

▽標準病名やその対応するICD-10コード、常に更新される医薬品適応・禁忌情報に対応していることにより、電子カルテや医事会計システムなどの参照チェック・用語入力の効率化を図るとともに、臨床治験ケースカードや紹介状、医学論文など各種医療関連資料を効率よく作成することができる

※問い合わせ先＝アイティーコーディネート ☎03・5777・5471